記者発表資料

平成２２年　９月２９日
国土交通省　青森河川国道事務所

馬淵川水辺の楽校「せせらぎ水路」の通水を再開します！

～ コモチカワツボ駆除対策実施後のモニタリング調査結果を受けて ～

馬淵川水辺の楽校（国道104号大橋下流右岸）のせせらぎ水路内において、大量発生が確認された外来種の巻き貝「コモチカワツボ」について、青森河川国道事務所では、これまで次の対策ならびに調査を実施しています。

・９月１７日～１８日	ガスバーナー等による「コモチカワツボ」駆除作業
・９月１８日	駆除後の「コモチカワツボ」生息分布モニタリング調査
・９月２４日	ガスバーナー等による「コモチカワツボ」追加駆除作業
	追加駆除後の「コモチカワツボ」生息分布モニタリング調査

追加駆除対策実施後の生息分布モニタリング調査の結果、せせらぎ水路内およびその周辺において、コモチカワツボの生息個体は発見されませんでしたので、このたび、下記のとおり通水を再開する運びとなりましたのでお知らせします。

また、今後の予定としては、

① 通水後、１週間をめどに再度「生息分布モニタリング調査」を実施
② １０月中旬に第２回「コモチカワツボ」対策検討会を開催
③ 検討会の結果を受けて、馬淵川水辺の楽校の一般開放予定

記

■ 日　　時 ： 平成２２年　９月３０日（木）　１０：００～
■ 場　　所 ： 馬淵川水辺の楽校（右岸）
■ 実施内容 ： 追加駆除対策実施後のモニタリング調査の結果を受け、矢止めの清水から馬淵川水辺の楽校「せせらぎ水路」への通水を再開します。
（※立ち入り禁止はそのまま継続します。）
■ 添付資料 ： 参考資料－１　「コモチカワツボ」追加駆除作業後の生息分布モニタリング調査結果

記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
住所：青森市中央三丁目２０－３８
電話：０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川）　荒木（あらき）　勝彦（かつひこ）（内線２０４）
調査第一課長　　福田（ふくた）　修（おさむ）（内線３５１）

■「コモチカワツボ」追加駆除作業後の生息分布モニタリング調査結果

【参考資料ー1】

■実施目的	・コモチカワツボ追加駆除作業後の生息分布状況を把握し、駆除対策効果を評価することを目的に実施
■実施日	・平成22年 9月24日(金) ※追加駆除作業と並行
■実施箇所	・水辺の楽校(右岸)周辺 (No.1～No.15)
■実施内容	・水辺の楽校(右岸)せせらぎ水路：水路部、水際積石部、草地部における円柱管を用いた定量的採集(No.2～No.7の計6地点) ・その他の箇所 ：目視およびタモ網捕獲



【生息分布モニタリング調査実施状況】



No.2水路部での採集



No.7積石部(ひょうたん池)での採集



No.9集水桝部での採集

【調査結果概要】

■コモチカワツボは15地点中10地点で確認されたが、いずれも枯死もしくは焼却により灰化した死貝であった。

■サカマキガイ等の他の貝類、イトミミズ類やヒル類についても、焼却により生存する個体は消滅したと判断される。

9月17～18日および24日の駆除作業により、対象地域における「コモチカワツボ」の生息個体はいないものと判断される。